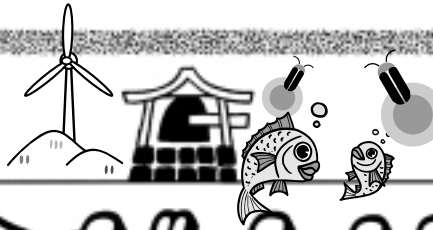




のべおか



市議会だより

第50号

平成24年 2月 1日発行
(2012年)

発行：延岡市議会
編集：広報・広聴特別委員会

〒882-8686 延岡市東本小路2-1
TEL (0982) 22-7029



議場見学の様子（11月2日 南方小）

12月定例会の概要

12月定例会は11月29日に招集され、12月16日までの会期で行われました。

今議会で審議された議案等は、平成23年度延岡市一般会計補正予算をはじめとする各会計補正予算や、「延岡市一般職職員給与条例等」「延岡市下水道条例等」「延岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」「延岡市証紙条例」の、それぞれ一部を改正する条例の制定や、「延岡市火葬場条例」の制定など議案36件、意見書2件、陳情1件でした。

また、一般質問では、3日間で14名が登壇し、市長の政治姿勢をはじめ、新庁舎建設や観光振興、市街地の浸水対策など、多岐にわたる質疑が活発になされました。

そして、最終日の本会議において、議案や意見書案件をいずれも原案通り可決し、陳情を継続審査としたほか、4件の報告を受け、閉会しました。

☆主な掲載内容……………（ページ）

- ◆ 12月議会で決まったこと…………… 2
- ◆ 一般質問…………… 3～6
- ◆ 常任委員会審査結果報告(抜粋)、編集後記…………… 7～8



平成23年度 12月補正予算(2次含む)一覧表

会計別	補正前	補正額	合計	
一般会計	568億3262万0千円	6億4511万7千円	574億7773万7千円	
特別会計	国民健康保険	163億7928万1千円	165億3955万1千円	
	食肉センター	13万0千円	13万0千円	
	介護保険	117億0209万7千円	2363万4千円	117億2573万1千円
	後期高齢者医療	13億3123万8千円	△684万8千円	13億2439万0千円
	小計	294億1274万6千円	1億7705万6千円	295億8980万2千円
企業会計	水道事業会計	40億8328万9千円	△229万2千円	40億8099万7千円
	下水道事業会計	59億8228万3千円	△4166万6千円	59億4061万7千円
	小計	100億6557万2千円	△4395万8千円	100億2161万4千円
合計	963億1093万8千円	7億7821万5千円	970億8915万3千円	

予算関係

12月議会で決まったこと

《主な補正内容》

臨時景気対策事業	1億0749万0千円
生活保護事業	1億5648万0千円
林道災害復旧事業	1億9807万7千円
道の駅「北浦」施設整備事業(2次補正分)	360万0千円

条例関係

- ◆ 延岡市一般職職員給与条例等の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市特別職職員給与条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市コミュニティバス条例の制定
- ◆ 延岡市景観条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市下水道条例等の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市火葬場条例の制定
- ◆ 延岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市証紙条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市土地改良事業賦課金徴収条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- ◆ 延岡市税条例の一部を改正する条例の制定

人事関係

- ◆ 固定資産評価審査委員会

- ◆ 委員の選任(菊田光展氏)
- ◆ 人権擁護委員候補者の推薦5件(兒嶋タキエ氏・田中尚子氏・谷口悦子氏・田中寛子氏・堀野信子氏)

その他

- ◆ 宮崎県北部広域行政事務組合規約の変更に関する協議
- ◆ 市道の路線廃止(1路線)
- ◆ 市道の路線認定(11路線)
- ◆ 新たに生じた土地の確認
- ◆ 町の区域の変更
- ◆ 指定管理者の指定(6件)

報告

- ◆ 専決処分報告
- ◆ 車両損傷事故に伴う和解及び損害賠償額の決定(3件)
- ◆ 負傷事故に伴う和解及び損害賠償額の決定(1件)

新たな選挙管理委員・補充員

- ◆ 選挙管理委員
緒方忠久氏・横山祐子氏・岡田秀一氏・中井一萬氏
- ◆ 補充員
亀長馨氏・小笠原正勝氏・矢北玲子氏・林田玲子氏

【意見書・陳情の審議結果】

種別	件名	審議結果
意見書	環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)早期締結に反対する意見書	原案可決
	「脱原発」に向けた政策の実行を求める意見書	原案可決
陳情	引火性溶剤を用いるクリーニング所の建築基準法許可申請に対する支援に関する陳情	継続審査



14名の議員が

一般質問

市政に関する内容について、3日間にわたり活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。

総務財政関係

長期総合計画

【問】地方自治法改正により、基本構想は議会の議決が必要になったが、今後の取り組みは。

【答】本市は、定住自立圏構想の中心市として今後のまちづくりの基本姿勢を示す基本構想、基本計画を策定していく。

まちづくり事業

【問】市民まちづくり事業、元気のいい三北地域づくり支援事業の支援終了後の所見は。

【答】元気のいい三北事業については、実績効果の検証を十分に行い、継続について検討したい。市民まちづくり事業は最長3年であるが、終了後も活動が地域づくりにつながるよう取り組む。

んでもらいたい。

大型事業完了後の財政運営

【問】将来の財政を心配する声もあるが、各種大型事業完了後の財政運営は。

【答】第6次行財政改革の効率化を図りながら、引き続き、質の高い市民サービスが提供できるよう、健全で安定的な財政運営を目指していく。

人口減少

【問】少子化は、未婚化の問題でもある。婚活支援の取り組みも必要では。

【答】雇用の確保、子育て支援を進め、未婚男女の出会いを検討したい。



登壇議員

(質問順)

- | | | |
|----|---|---|
| 河野 | 治 | 満 |
| 下田 | 英 | 樹 |
| 三上 | 藤 | 上 |
| 佐藤 | 美 | 誠 |
| 上城 | あ | 利 |
| 中友 | 幸 | か |
| 長本 | 貞 | ね |
| 熊原 | 茂 | 子 |
| 西瀬 | 賢 | 樹 |
| 早田 | 仁 | 一 |
| 太本 | 松 | 龍 |
| 小松 | 小 | 俊 |
| | | 男 |
| | | 良 |

新庁舎建設の市民への影響

【問】新庁舎建設に伴う振動や騒音、解体工事による粉じんや、運搬車両等による交通渋滞など市民への影響は。

【答】工事期間中の騒音、粉じんや工事車両の出入り等の対策については、これからの設計の中で影響を緩和していく。建設後のビル風等による近隣住民への影響についても、対策を講じる。

新庁舎建設計画と特例債

【問】約75億円もの建設費の財源や、将来の返済計画及び本市財政運営に与える影響については。

【答】合併特例債で対応する金額は、概ね50億円。償還期間を20年として試算すると、実質的な市の負担額は、年9千万円程度となり、財政運営に大きな影響を与えないと考える。

入札参加資格

【問】営業所や支社が何十年も延岡にあり、従業員も地元から雇用している事業所の入札参加資格に関する基準や条件は。

【答】地元雇用状況や、雇用形態、受注実績の調査等を行い、市税等の納付状況や能力及び技術的適応性等を勘案した上で、発注条件に応じた選定を行う。

震災復興ボランティア

【問】東北のボランティア活動に行くために、市でボランティアアツアを企画してほしい。

【答】ボランティア関係団体等と連携しながら、被災地のニーズや最新の支援活動情報などの提供を行い、ボランティアの支援に努める。

避難訓練

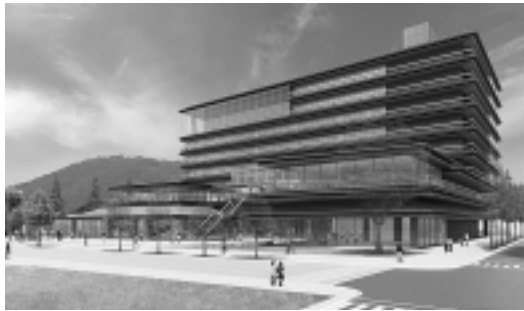
【問】津波の場合、避難は時間との勝負であるが、地震時の地域における津波避難訓練等の状況は。

【答】今後とも訓練や防災講座を通じ、避難行動についての意識啓発に努める。

津波時の避難場所

【問】避難場所の見直しと確定作業について、現在の進捗状況と完了予定は。

【答】現在の津波被害想定地域である沿岸部については、



▲新市庁舎のイメージ図



避難場所や避難経路を明示した避難場所マップの作成もあわせて、近々、確定作業が完了する見込みである。

自治体クラウド

【問】自治体クラウドが稼働した場合、どの程度の効率化や経費削減が図られるのか。
【答】全データが標準的な電算システムで一元管理されるため、各業務時間の連携が取りやすく、処理時間が短縮される。また、現行のシステムの経費の約30%程度が削減できる。

市職員の法令遵守

【問】行政の最前線で仕事をする職員は、法を遵守する事と、法が市民のためになっているのかを常に考えながら仕事をし、改正すべきものは改正するように働くべきでは。
【答】職員は、単に事務手続きを理解するだけでなく、法令や制度の趣旨も十分に把握し、市民の目線で問題意識を持ちながら、業務にあたるのが大切である。

公共料金の引き上げ

【問】下水道使用料、し尿料

金などの改定議案が提案されている。所得税、消費税等の増税が予定され、市民の負担が大きくなるうとしているこの時期に、市民生活に直結する使用料等を引き上げることについての認識は。
【答】使用料等は、一定の負担をお願いしている。今回の見直しの中で、極力負担軽減を図る料金体系やサービス向上、継続可能な制度の維持に努める。

島野浦の船賃・バス料金

【問】コミュニティバスの料金は100円であるのに比べ、島野浦の住民は高速艇とバスを乗り継ぎ、1070円の費用がかかっているが、所見は。
【答】島野浦の航路は近年、厳しい経営状態にあり、国、県、市が補助しながら航路の維持を行っていることなどから、料金の見直しは困難であると考える。

消防団員等の安全対策

【問】東日本大震災では、多くの消防団員が水門の操作等で逃げ遅れ、殉職されたが、本市の対策は。
【答】水門の遠隔操作化や

フラップゲート化の拡充のお願いと避難講習を実施している。



▲フラップゲート (川島町)

都市建設関係

南延岡駅駐輪場の整備

【問】南延岡駅は、路上駐車や駐輪場から路上にはみ出した自転車が多く、交通安全上問題である。景観上の観点からも早急な駐車場と駐輪場の整備は。
【答】JRとしては整備しない方針のため、市として隣接するJR貨物用地を活用できないか協議してきた。今後は維持管理面などJRと協議・検討する。



▲南延岡駅前の駐輪場

TPP交渉参加

【問】TPPは、地域の結びつき、助け合い、危機管理を崩壊させ、地域崩壊の可能性もあると思うが、所見は。
【答】農業、医療制度の問題等、多くの懸念がある。十分な情報公開、国民的議論を踏まえた対応を願う。

西環状線別府工区の整備

【問】県道の愛宕平原地区や薬品工場南通線の渋滞が深刻な中で、西環状線別府工

区の早期整備しか解決方法が見当たらないが、今後の計画は。
【答】踏切を横断する自転車や歩行者が多い中、立体交差すると踏切閉鎖になる課題が残されており、県道の渋滞対策を含め、協議・検討する。



▲西環状線別府工区予定地

伊達・構口地区の冠水対策

【問】伊達・構口地区の県道沿いを中心に、以前から慢性的に冠水し、さらに近年の豪雨では愛宕山からの鉄砲水も激しい。早急な対策が必要であると考えるが。
【答】横断暗渠増設の検討、農業用水路の活用など既存水路の調査や検討を行い、水路の清掃や集水機能の改善などができないか検討する。



経済環境関係



放射性物質の測定

【問】宮崎市は、放射性物質を観測し公表したが、本市は観測しないのか。

【答】今後は、市内にもモニタリングポストを設置し、大気中の放射性物質の監視を行う。

災害廃棄物の受け入れ

【問】岩手・宮城・福島3県のがれきの仮置き場では、自然発火による火災が相次いでおり、住民の安全面から一日も早い処理が求められている。また、復興のカギとなるがれきの処理は、広域処理の手法以外にない。



▲積み上げられたがれき（陸前高田市）

放射能をむやみに恐れるのではなく、放射能のことをよく知るために、市が広報を使って市民に情報をわかりやすく知らせるべきでは。

【答】まず、国の説明が中心にあつて、それを市民になくのが市の使命と考える。

市営墓地建設

【問】市営墓地を新設する考えはないか。

【答】市営墓地が岡富町と西階町に約2千800墓地あるが、空き区画が残り少ない。駐車場確保の要望もあるため、市民ニーズを把握し、平成27年度までに整備の必要性について調査研究する。



▲市営墓地（西階町）

TPP問題と食の安全

【問】TPP参加により、食料危機や耕作放棄地の拡大、食の安全性が脅かされるなど危惧される点が数多くあるが所見は。

【答】現在は、残留農薬や食品添加物など他の国より厳しい基準を設けているが、TPPに参加すれば、関税以下の貿易障壁もなくなっていくことが求められる。また、金融、労働、医療などの制度や基準が、他の国や国際的な基準に緩和されることになる。国民の不安が解消されるよう国から十分な情報提供がなされ、議論を深めなければと考えている。

農業後継者対策

【問】地域農業の担い手対策は。

【答】早くから営農集団の育成に取り組んできた。集落営農を旨とする組織に対しては、JAとも連携して地元との協議や共同活動へ向けての助言、支援を行っている。

有害鳥獣駆除

【問】有害鳥獣駆除の狩猟資格者の更新費用の支援は。

【答】狩猟免許は3年ごとの更新であるため、有害鳥獣

駆除班員に限つての更新費用の支援は難しい。現在、駆除班に対しては、捕獲活動保険やわな保険の支援を行っている。

販売担当者設置

【問】農林水産業製品の販売力強化のため、部内に販売担当者を置いては。

【答】生産から販売までの一体的な取り組みが必要であり、今後関係機関との連携を密にして販売促進に取り組む。

バイオマスタウン構想

【問】延岡市バイオマスタウン構想は、新庁舎建設の設計にどう反映されるのか。

【答】新庁舎については、本市に適した省エネルギー採用等について検討を進めている。また、設計者等に対し、木質バイオマスの導入の可能性について調査を指示している。

観光客誘致

【問】観光振興のための観光客誘致の実績と取り組み内容は。

【答】観光振興ビジョンに基づき「感動体験案内人事業」では、ダイビングだけで既

に3千人以上の実績を上げている。「鮎やな事業」や「チキン南蛮事業」など延岡ならではの事業に取り組んでいる。

延岡駅周辺整備

【問】市民参加による、まちの活性化に期待している。今後どのような理念の下で進めていくのか。

【答】市民が自発的に集まる仕掛けをつくり、賑わいを創出する「駅から始まるまちづくり」の考え方で進めている。



▲延岡駅

企業誘致

【問】世界経済の変化に伴い、企業誘致実現の可能性は厳しく、従来の製造業中心の考えは通用しない。どう分析し、どう対処していくのか。



【答】生産技術や高度な技術を要する部分は、国内の生産拠点にとどめたい考えが企業にある。本市の優位性をPRし、精力的に活動する。

住宅リフォーム商品券事業

【問】住宅リフォーム商品券

福祉教育関係

介護保険の改正

【問】介護保険第5期計画では、新たな事業をどのように取り組むのか。また、制度改正の中、介護保険料の見直しは。

【答】今回の改正は、在宅生活を支援するため、医療、介護、予防、住まいが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が柱である。中でも「24時間対応の定期巡回・随時対応サービス」の取り組みを検討する。保険料は報酬改定、職員の処遇改善など国の動向を注視し、検討する。

を購入する場合、高額の現金が必要となるが、ローンやカード返済を可能にしてさらなる利用促進を図れないか。

【答】カード利用の可能性も含め、手続きの簡素化など利用しやすい制度となるよう調査研究を行う。

障がい者支援

【問】介助者を必要とする障がい者がヘルストピア延岡を利用する際、介助者とおわせた入館料が健常者の1.5倍以上となっている。入館料の見直しを行う考えは。



▲ヘルストピア延岡

【答】介助者に対する利用料

の助成については、他の類似施設等の調査を行いながら今後検討を行う。

学校の安全管理

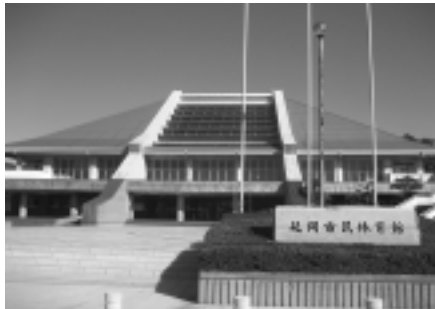
【問】学校内の事故の状況と件数、その原因は。

【答】平成22年度、小学校では昼休みに運動場で、中学校では部活動中に事故が多く発生している。件数は1028件で、接触転倒が原因のほとんどを占めている。

スポーツ施設の整備

【問】市民体育館のトイレとシャワー室を整備する考えは。

【答】市民体育館は、昭和54年の建設から約30年経過している。長期維持の観点から、老朽化対策の中でトイレなどの改修も検討する。



▲市民体育館

大会補助制度のあり方

【問】スポーツ系と文化系が九州以上の大会に出場する際、補助制度に差異が生じている。同様の制度に改める考えは。

【答】今後、県内各市の状況等も調査しながら検討する。

武道・ダンスの必修化

【問】平成24年度から中学校で武道・ダンスが必修になるが、教諭への指導力向上の方策は。

【答】すべての保健体育科の教員を武道・ダンスの研修会へ参加させたり、地域の柔道有段者やダンス指導者を授業に活用したりするなど、外部との連携も図る。

トイレマップの作成

【問】「よっちみる屋」から市街地までの国道沿いにトイレがなくて障がい者が困った話を聞いたが、トイレマップの作成は。

【答】障がい者用トイレについては、県のバリアフリー情報として、ホームページで提供している。トイレマップの作成は、障がい者団体の意見を聞いて検討する。

用語解説

【注1】フラップゲート：河口部の防潮、河川の逆流防止のために設けられる代表的なゲート。扉体上部に設けた軸を中心に水圧荷重によって水流方向に回転することでゲートを開閉する。

【注2】暗渠：地下に埋設された、あるいは地表にあっても蓋をした導水路。閉水路ともいい、排水、下水、用水などに利用される。

【注3】モニタリングポスト：放射線を定期的に、また連続的に監視測定するために設置された装置。平常時の放射線レベルから緊急事態全般に渡る広範囲の放射線の変動を欠かさずことなく連続測定監視できるようにしている。

【注4】バイオマスタウン：地域内において、関係者の連携のもと、バイオマスの発生から利用までが効果的なプロセスで結ばれた総合的活用システムが構築され、安定的かつ適正なバイオマス利活用が行われる、あるいは見込まれる地域。現在300を超える地域が指定を受けている。本市も平成21年に指定を受けている。



おもな議案の委員会審査内容を報告します !!

12月定例会では、市民生活に直結する重要な議案を審査しましたので、その一部について、概要や委員会における市当局とのやり取りを掲載します。※表題の括弧内は審査を担当した委員会です。

「下水道使用料の改定について」(都市建設委員会)

概要	下水道事業において、地方公営企業として独立採算制による経営の健全化を図るため、受益者負担の原則に基づいた下水道使用料を改定したいというものです。平成24年4月1日より平均25%の値上げとなります。		
主な 質疑 ・ 応答	<p>問. 算出の根拠は？</p> <p>答. これまでの実績や経緯から今後3年間の見込みの平均を算出し、必要経費を出した結果である。</p>	<p>問. 下水道未接続世帯への取り組みは？</p> <p>答. 専任職員が年間約2,500件の未接続世帯を訪問し、水洗化をお願いしている。</p>	<p>問. これまでの企業努力の経緯は？</p> <p>答. 職員削減や民間委託などで、一般会計からの繰り入れを10億2,900万円減らしている。</p>
審査結果	「下水道事業は公営企業化され、経営状況もより明確に把握できるようになっていることから、今後一層の企業努力をするとともに、より市民に配慮する形で、計画的な健全経営に努めてほしい」と市当局に要望し、一般会計からの繰り入れを減らす目的の今回の値上げはやむを得ないと判断し、 原案のとおり可決 しました。		

「し尿処理手数料の改定について」(経済環境委員会)

概要	し尿処理手数料は旧延岡市地域と旧3町地域で異なりますが、合併協議の調整方針に基づき、平成24年7月から、これを統一したいというものです。改定後は全市域で70円/10ℓの従量制となります。		
主な 質疑 ・ 応答	<p>問. 手数料の引き上げに見合ったサービス向上の方策は？</p> <p>答. 現在の証紙販売店に、旧延岡地区の収集委託業者を移動販売店として加え、利用者の利便性の確保を図る。</p>	<p>問. 低所得者や高齢者世帯への減免措置は？</p> <p>答. 県内9市のうち、本市のみが生活保護世帯の全額減免を行っている。</p>	<p>問. 下水道区域内にあるし尿収集世帯への下水道接続の取り組みは？</p> <p>答. 今後、し尿収集世帯へ料金改定のチラシを配布し、併せて、関係機関と連携して下水道接続に関する啓発も予定している。</p>
審査結果	「し尿処理手数料を引き上げる以上は、それに見合うだけのサービスや利便性の向上を図るよう努めるとともに、低所得者や高齢者世帯に対する何らかの対策を講じるよう検討してもらいたい」と市当局に要望した上で、 原案のとおり可決 しました。		



「延岡市火葬場条例の制定」(経済環境委員会)

概 要	平成24年4月から供用開始される新火葬場(延岡市葬場「いのちの杜」)の使用料や管理方法について、条例を定めるものです。		
主な 質疑 ・ 応答	<p>問. 使用料算出の根拠は？</p> <p>答. 維持管理費の一部負担を基本に、実費相当額の約3割負担とした。</p>	<p>問. 将来的な使用料改定の見通しは？</p> <p>答. ある程度一般財源を投入しながら、使用料を抑えていくことが適切であると認識している。</p>	<p>問. 施設の使用方法などの周知は？</p> <p>答. 新料金設定の考え方など含め、広報紙やホームページで周知を図る。</p>
審査結果	現在の使用料が30年間据え置かれてきたことや、新施設の維持管理費が現状の4倍になるのに対し、使用料を3割未満に抑制していること、県内他市平均より5,000円以上安価に抑制していることなどを総合的に勘案し、 原案のとおり可決 しました。		

新火葬場使用料 新旧対照表(単位:円)	市内居住者		市外居住者	
	新(改定後)	旧	新(改定後)	旧
大人1体	15,000	5,000	55,000	10,000
小人(12歳未満)	10,000	3,300	36,000	6,600
死産児1体	6,000	2,500	6,000	5,000
肢体の一部	3,000	800	11,000	1,600
産汚物1体	3,000	800	3,000	1,600
改葬(5年以上)一棺	7,000	2,500	25,000	5,000
改葬(5年未満)一棺	11,000	4,000	40,000	8,000
待合室(葬儀)	30,000	—	90,000	—
待合室(通夜・葬儀)	50,000	—	150,000	—



新火葬場完成予想図
(延岡市葬場「いのちの杜」)

本会議は市民の皆様公開されています

定例会及び臨時会の本会議は傍聴することができます。
市役所3階の傍聴席から、明日の延岡を創造する議会と市当局との活発なやりとりを見てみませんか。
また、一般質問の様子はケーブルテレビでも生中継されていますのでご覧ください。
その他、本会議の記録は「会議録」として、インターネットで検索することができます。

- ◆傍聴席……………約60席(車いす用3席あり)
- ◆テレビ放映……………ケーブルメディアワイワイ(111チャンネル)
- ◆会議録検索システム…延岡市役所ホームページ>延岡市議会>会議録検索

編集後記

政府は「復興庁」を設置し、岩手・宮城・福島の方針を決定しました。東日本大震災で被災された地域の皆様の声が、確実に政府に届き、復興が進むよう願っています。

議会では本会議・各委員会において、当局との活発な質疑が行われています。広報・広聴特別委員会では、これらの情報を、市民の皆様によりやすくお伝えするよう議会だよりの作成に取り組んでいます。議会だよりも、50号となりました。今後も、議会の活動状況を正確に伝えられるよう努めてまいります。



次回の定例会は3月に予定されています。
第51号は5月初旬に発行する予定です。